

# 令和7年度食育推進支援セミナー(Web) 日程・内容表

下記のセミナーを当給食会ホームページのセミナー専用ページにてWeb研修 (YouTube動画配信) で開催いたします。セミナー専用ページのログイン方法、パスワード等は、申込フォームに入力されたアドレス宛てにメールでご案内いたします。申込された研修について、下記日程に沿って配信期間内に各自で資料を印刷し、研修動画を視聴して受講してください。

○主な対象者：管理職・一般教職員・養護教諭・栄養教諭・学校栄養職員・教育委員会関係者

○動画配信期間及びアンケート締切日について

	受講期間	アンケート回答締切
1回目	令和7年6月27日(金)～令和7年9月5日(金)	令和7年9月5日(金)
2回目	令和7年10月10日(金)～令和8年1月9日(金)	令和8年1月9日(金)
<b>全研修受講後、研修報告書提出 (締切：令和8年1月末)</b>		

## (A) 児童・生徒の食に関する課題の対処方法について 全2コマ

講師 中岡 和代 氏 (大阪公立大学大学院 リハビリテーション学研究科 講師)

コンセプト(学校生活における児童・生徒のさまざまな課題について、作業療法士の視点による評価や指導方法の研修)

研修内容	
1回目	①感覚特性から捉える児童・生徒の行動と支援 児童・生徒の行動を感覚特性から捉えて、行動の背景に何があるのかを考え支援についても検討する方法をお話します。
2回目	②自閉スペクトラム症児を中心とした食に関する支援 自閉スペクトラム症などの神経発達症児や気になるお子さんの食に関する行動の支援についてお話します。

## (B) 学校現場で生かす臨床心理学2025 全3コマ

講師 畑中 千紘 氏 (京都市立大学大学院 教育学研究科 准教授)

コンセプト(臨床心理士による臨床心理学的視点からの児童・生徒の個別指導と保護者対応における研修)

研修内容	
1回目	①現代の子どものころを理解する (1) SNS時代のころ 時代にに応じて私たちのころは変化しています。子どものころも例外ではなく、学校現場での栄養指導にもその理解は欠かせません。研修第1回目ではSNS時代の子どもたちの特徴についてお話しし、今を生きる子どもたちとの関わり方について考えます。 ②現代の子どものころを理解する (2) 現代の思春期を考える 子どものころの現代的な特徴を理解するための第2回研修では、特に思春期に焦点を当ててみたいと思います。親に反抗したり暴力・暴言が当たり前だった以前の思春期と異なる現代の思春期について考え、変化の大きい時期を共に過ごしていくためのヒントについて考えます。
2回目	③ 食育と個別指導 栄養教諭にも個別指導が求められるようになり、多くの先生がそれに取り組もうと奮闘されていますが、やり方がわからない、知識が乏しく困っているという声が多く聞かれます。個別の関わりを専門とする臨床心理学の知見についてお話しし、個別指導のあり方について考えます。

## (C) エビデンスに基づき人を動かす手法 全2コマ

講師 竹林 正樹 氏 (青森大学 客員教授)

コンセプト(食育推進基本計画で推奨されている行動促進手法「ナッジ」を理解し、実践できるようになるための短期集中講座です)

研修内容	
1回目	①なぜナッジで人は動く？ 多くの研究から、頭では食の大切さがわかっても望ましい食行動がとれない人の背景にある認知バイアスの存在がわかってきました。それに呼応したナッジを設計することによる行動促進のメカニズムを考えていきます。
2回目	②どんな場面でナッジが効果的？ ナッジの基礎知識を習得したら、次は活用イメージをつかむことです。国内外のナッジの実践例を通じて、各場面でのナッジの応用を考えていきます。

※申込は (A) ・ (B) ・ (C) 重複しての受講も可能です。

※研修は、配信期間内に必ず視聴してください。

各回の研修期間終了までにアンケート(Googleフォーム)が未回答の場合は給食会から連絡を入れさせていただきますのでご了承ください。

※ICTを活用した食育支援セミナーの申込は9月頃の予定です。

※全研修受講後には、「研修報告書」を令和8年1月末日までにメールにてご提出ください。